

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	小規模企業者等の設備導入に対する金融事務（設備貸与事業）		
目的	(1) 対象	県内の中小企業者又は小規模企業者	
	(2) 意図	経営基盤が脆弱なために設備資金を調達することが困難な小規模企業者等を支援する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・しまね産業振興財団が中小企業等の創業及び経営基盤の強化に必要な設備を、長期低利の割賦販売により導入できる制度 ・原資は県(無利子)1/2と自己調達1/2(主に金融機関からの有利子借入)による。 ・従来、国制度と平行して運用され、国制度を補完する形で従業員300人以下の中小企業者を対象としていたが、H26年度末の国制度廃止に伴い、従来国制度の対象だった20人以下の小規模事業者及び創業者を包含し、引き続き制度実施 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	年間利用件数	目標値	34.0	34.0	34.0	34.0	件
	式・定義	年間の貸与利用件数	実績値	19.0				
				達成率	-	-	-	-
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
				達成率	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	258,250	252,059
うち一般財源(千円)	258,250	252,059

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・6月末時点で4件が採択済み。このほか審査案件が5件あり、昨年度と同程度の件数。 ・国制度の廃止に伴い、廃止部分を補完する形で県単制度を拡充し、支援を継続している。 ・設備導入における初期費用の抑制、金融機関の融資枠の確保及び償還後は設備の所有権が事業者に移る等、経営基盤の脆弱な企業にとってメリットが大きい制度となっている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は19件の利用に留まったが、支援に対する需要は根強くあり、小規模企業者等の設備導入の促進に繋がっている。 ・設備を導入した企業の多くが、品質の向上、生産量増大、作業効率の向上などの効果があったとするなど、この制度を利用した企業等の満足度は高い。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数が目標に届いていない。資金調達力、担保力が弱い小規模企業者等の設備投資を支援するために必要な制度であり、引き続き制度を運用していくためには、一定の利用実績を確保していくことが必要。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間金利の低下による当該制度のメリットの薄れ ・制度の周知不足
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度を周知し、効果的な制度利用を促す必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>①事業実施主体である「しまね産業振興財団」と連携し、県内事業者に対する周知に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関との連携を密にし、事業者への貸与制度の紹介を依頼。
<p>②設備導入に際し、経営への助言等の実施をこれまで以上に努め、効果的な設備投資となるよう支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況の改善について、財団が保有する支援ツール(専門家派遣等)を活用する ・金融機関と協調して貸与を実行し、経営を支援する(金融機関に運営資金の支援を依頼)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--